

Bright Eyes

～たかまつでかがやくひと～

vol.2

障がいがある人もない人も つながりを深められる社会に

私自身が難聴という障がいを抱えていることもあり、自分の状況や難聴について紹介した動画をYouTubeに公開していました。その動画に、すごくたくさんの人からさまざまな反響をいただき、このことが障がいに関する情報を発信することに大きな意義があるということを実感した出来事となりました。

障がいに対し、残念ながら誤解や偏見を持っている人がいることも事実です。障がいや障がいのある人のことを、まずは知ってもらい、お互いが理解を深めることができれば、世の中は少しずつですが変わっていくのではないかと思います。障がい福祉スペシャルサポーターとして、また、タレントとしても、私は、さまざまな障がいを持つ人たちにとって、勇気や希望を与えられるような存在でありたいと思っています。

私は、生まれ育った高松の街も人も大好きです。のどかな自然と街並みがほどよく調和していて、自転車があればどこにでも行けるコンパクトなところが魅力だと思います。一番のお気に入りの場所は、栗林公園ですね。掬月亭から眺める偃月橋の風景には、いつも癒されています。

これからもSNSを通じて情報発信を続けていきたいと思っています。是非、チェックしてみてください。



**身体障害者補助犬
(盲導犬・介助犬・聴導犬)
の給付申し込みを受け付け
します。**

- ◆対象 身体障害者手帳の交付を受けた人で、日常生活に著しい支障がある人
 - ◆申込期間 6月1日(月)～19日(金)
- ※詳しくは、障がい福祉課(☎839・2333)までお問い合わせください。

編集後記

未知のウィルスの猛威は、私たちの生活や経済活動、そして、街の風景をも一変させてしまいました。

突然、学校が休校となり、自宅学習を余儀なくされた児童生徒の皆さんは、いつも一緒に勉強していた友達や先生に会えない不安な日々の中で、その存在の大切さを改めて実感していると思います。

取材で訪れた古高松南小学校には、先生や児童、地域の方の手によって、校庭に鯉のぼりが掲げられています。五月晴れの空に靡く色とりどりの鯉たちが、子どもたちの元気な姿を待ち望んでいるように見えました。

私たちは、これまでも、湯水、高潮、集中豪雨など、街が窮地に見舞われるたびに、お互いに手を取って励まし合い、痛みを分かち合いながら、幾度となく困難を乗り越えてきました。

今回のコロナ禍では、直接触れ合い、身を寄せ合うことは難しい状況ですが、お互いを思いやり、心で寄り添うことで、試練を必ず克服できると思います。今こそ、高松市民の底力を信じましょう。



高松市障がい福祉スペシャルサポーター
白川 夢華 さん
Shirakawa Yumeka

【Profile】

高松市出身。英明高校在学中から芸能活動を開始し、2018年ミス・ユニバース・ジャパン香川大会ファイナリスト選出を契機に活動を本格化。地元香川を中心に、舞台、イベント、ラジオなどで幅広く活躍中。2019年、高松市障がい福祉スペシャルサポーターに委嘱され、障がい者支援施策のPRや障がい者への理解促進のための活動を精力的に行っている。趣味は写真撮影、特技はダンスと皿回し。

◆「広報 高松」の配布 に関するお問い合わせは

広報誌配布センター
☎0120・030・702
FAX883・6539

以下の地域の皆さんは、各地区
コミュニティセンターまで。

- ・新塩屋町(☎822・1066)
- ・国分寺北部(☎874・5805)
- ・女木(☎873・0105)
- ・男木(☎873・0002)



この印刷物は、環境に優しい水なし印刷及び植物油インキ、古紙配合率70%再生紙を使用しています。